

取組事例 白糠町だからできる、白糠町らしい教育による人づくり

(白糠町)

白糠町では、まちづくりの柱である教育の充実をはかり、ふるさとに心を寄せ、白糠ならではの地域性を活かすことができるグローバル人材の育成を目指し、将来の地域産業の支えとなる希望あふれる人づくりを進めている。

関連数値目標・KPI

	基準値	実績	目標値 (H31)	進捗率 (%)
高校の 地元進学率の向上	27% (H27)	55% (H29)	60%	91.7%
小中一貫教育を 実施する学校数	— (H26)	3校 (H30)	全校実施 (3校)	100.0%

取組事例①

釧路管内初の公営塾「白糠町久遠塾」の開塾

○主な取組

- ・白糠町が進める白糠高校の魅力化プロジェクトの一環として、町が設置する公営塾を平成30年6月に開塾。
- ・全国で教育を核とした地域活性化・地方創生に関する事業を展開する教育コンサル企業が運営に携わり、白糠高生を対象として、授業内容を踏まえた講座のほか、郷土学習や地域課題の解決について考察する機会を創出し、将来の進路の実現に向けて必要な指導や助言・相談などを行う。
※北海道創生プラットフォーム事業マッチング成立により事業化

○期待される成果

- ・白糠高生の基礎学力や目的意識、学習意欲、コミュニケーション能力の向上に加え、地域と連携した学びを行うことにより、地域の担い手として世界とつながるグローバルな人材をはぐくむ。



取組事例②

小中一貫教育の全町一斉開始

○主な取組

- ・平成30年4月から、全町一斉に小中一貫教育を開始。
- ・小中合同の授業や学校行事、認定こども園との連携などにより、異年齢交流を通じたコミュニケーション能力を育成する。また、小中学校教職員による合同研修や、統一した生徒指導を実施する。



- ・英語、中国語のALT（外国語指導助手）を複数配置し、小学1年生から専門性を生かした指導を実施。
- ・町内の様々な素材を教材に取り上げるとともに、知識や技術を持った町民による出前講座を実施。

○期待される成果

- ・小学校、中学校の教員がお互いの良さを取り入れ、9年間にわたる学習内容の系統性や、授業スタイルの連続性を高めるとともに、授業や生徒指導の改善・向上に努めることにより、児童生徒一人ひとりを大切にする教育体制が図られる。
- ・「話せる」「聞ける」＝「使える」語学力を習得し、世界に通用するコミュニケーション能力の育成を目指す。
- ・町内の様々な素材や人材を有効に活用しながら学習を進め、地域に誇りや愛着心、帰属感を持った児童生徒を育てることができる。